

民事訴訟法判例百選〔第6版〕

高田裕成・畑 瑞穂 = 垣内秀介 編

担当編集から

第5版の刊行から8年。大変お待たせいたしました。民事訴訟法判例百選、待望の改訂です。

この間にいくつもの重要な裁判例が出されました。第6版では、第5版刊行以降の判例や実務・学説の近時の展開を踏まえアップデート。収載判例を見直し、新規14件の判例を含む、本編113件・Appendix 42件の判例を収載しています。

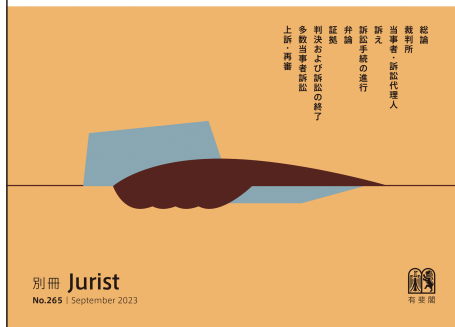
現行民事訴訟法の成立から時が経ちましたが、その基礎となった昭和の時代の判例も、変わらず数多く収載しています。「時代的な文脈の中で判例を理解し、民事訴訟制度が現に運用されている今日の視点から判例の意義を理解することが肝要」です（本書「はしがき」より）。またほとんどの判例項目につき、旧版とは異なるご執筆者にご解説いただきました。この間の動きを踏まえた新たな解説で、より深く理解していただければ幸いです。

なお、10月発売『有斐閣判例六法 令和6年版』でも第6版の新しい百選番号へ対応しています。ぜひあわせてご利用ください！（SN）

民事訴訟法 判例百選

〔第6版〕

高田裕成・畑 瑞穂・垣内秀介 編



| 用途 | 対象 |
|----|----------|
| 学習 | 学部 LS 研究 |

2023年9月発売／264頁／定価3080円（税込）
B5判／並製

Point

第5版との対照表を小社ウェブサイト（下記二次元コード）に掲載しています。

I 総論

民事訴訟の対象

II 裁判所

III 当事者・訴訟代理人

(1)当事者の確定／(2)当事者能力／(3)当事者適格
／(4)訴訟能力・法定代理／(5)法人の代表／(6)訴訟代理

IV 訴え

(1)給付の訴えの利益／(2)確認の利益／(3)形成の訴えの利益／(4)訴訟要件／(5)訴えと請求／(6)訴えの提起とその効果

V 訴訟手続の進行

(1)送達／(2)口頭弁論の整序／(3)責問権

VI 弁論

(1)訴訟行為／(2)当事者の主張の要否／(3)裁判所の釈明／(4)自白

VII 証拠

(1)訴訟における証明・事実認定／(2)証明責任／(3)証拠調べ手続／(4)各種の証拠調べ

VIII 判決および訴訟の終了

(1)申立事項と判決事項／(2)既判力の及ぶ範囲／(3)判決効の及ぶ者／(4)判決によらない訴訟終了

IX 多数当事者訴訟

(1)通常共同訴訟／(2)必要的共同訴訟／(3)補助参加／(4)独立当事者参加／(5)共同訴訟参加等／(6)訴訟承継

X 上訴・再審

(1)上訴の利益／(2)控訴審の審判の範囲／(3)上告／(4)抗告／(5)再審

詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。

